



2024年12月20日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 寺本 直樹  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 取締役 C F O 野口 敦司  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

### 資金使途変更に関するお知らせ

当社は、2022年12月9日付「第三者割当による新株発行、第10回新株予約権の発行、コミットメント条項付第三者割当契約並びに親会社、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」(以下「2022年12月9日付開示」と言います)、2024年3月29日付「資金使途変更に関するお知らせ」及び2024年6月21日付「資金使途変更に関するお知らせ」にて、第10回新株予約権(以下、「本新株予約権」と言います)により調達した資金の使途について公表しておりましたが、本日改めて本新株予約権による資金調達の使途について、下記のとおり変更することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 変更の理由

###### (1) 運転資金

公表しておりました本新株予約権における「調達する資金の具体的な使途」のうち、運転資金の支出金額について249百万円、支出予定時期を2023年6月～2024年12月としておりました。

しかしながら株価低迷による本新株予約権行使の遅れが見込まれるなかで可能な範囲での資金の節約を実施したことと、また本新株予約権発行時の見込みより業績が回復したことから、2024年12月までの運転資金については、当初予定より85百万円少ない164百万円の支出となりました。

また2025年1月以降の運転資金については、2024年10月31日付「第三者割当による第11回新株予約権、第12回新株予約権及び第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに買取契約(第13回新株予約権につきコミット条項付)の締結に関するお知らせ」にて公表した、第11回新株予約権、第12回新株予約権及び第13回新株予約権(以下「第11回乃至13回新株予約権」と言います)の行使による資金調達が開始されたため、2025年1月以降の運転資金については、「第11回乃至13回新株予約権」の行使により調達される資金のうち、①運転資金(営業赤字の補填)180百万円を充当することとなったため、「2022年12月9日付開示」にて公表いたしました資金を充当する優先順位を見直し、本新株予約権による運転資金の調達は当初予定より85百万円少ない164百万円で支出完了とし、金額を164百万円とすることといたしました。

## (2) M&A資金、新規事業投資

同じく「調達する資金の具体的な用途」のうち、M&A 資金、新規事業投資の支出金額について 631 百万円としておりました。

しかしながら、上記(1) 運転資金の支出金額について 85 百万円の減額が生じたことと、システム開発費用/開発体制の強化、マーケティング投資、人材採用、教育投資及び借入金返済費用において追加の資金を必要とする計画がないことから、M&A 資金、新規事業投資について 85 百万円を増額することといたしました。

また2024年11月18日付「新株予約権の行使価額の調整に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、本新株予約権の行使価額及び割当株式数が調整されたため、調達予定額の調整が必要となり、M&A資金、新規事業投資の金額について1百万円減額することといたしました。

以上より、M&A資金、新規事業投資の支出金額については当初予定より84百万円多い715百万円とすることといたしました。

## 2. 変更の内容

本新株予約権の発行及びその行使により調達する資金の支出予定時期等の変更内容は以下のとおりであり、変更箇所は下線で示しております。

### 【変更前】 <本新株予約権>

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 運転資金	<u>249</u> 百万円	2023年6月～2024年12月
② システム開発費用/開発体制の強化	120百万円	2023年4月～2025年6月
③ マーケティング投資	100百万円	2023年4月～2025年6月
④ 人材採用、教育投資	14百万円	2023年7月～2023年12月
⑤ 借入金返済費用	200百万円	2023年7月～2025年12月
⑥ M&A資金、新規事業投資	<u>631</u> 百万円	2023年4月～2025年12月
合計	<u>1,314</u> 百万円	

### 【変更後】 <本新株予約権>

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 運転資金	<u>164</u> 百万円	2023年6月～2024年12月
② システム開発費用/開発体制の強化	120百万円	2023年4月～2025年6月
③ マーケティング投資	100百万円	2023年4月～2025年6月
④ 人材採用、教育投資	14百万円	2023年7月～2023年12月
⑤ 借入金返済費用	200百万円	2023年7月～2025年12月

⑥ M&A資金、新規事業投資	715百万円	2023年4月～2025年12月
合計	1,313百万円	

※上記本新株予約権の発行に伴う調達資金の資金使途は、2025年12月までの資金使途を記載したものであります。

※当社普通株式の株価の状況によっては、本新株予約権が行使されず、当社の想定した時期等に資金調達ができない可能性があります。その場合、上記資金使途及びその金額については、変更される可能性があります。

※「2022年12月9日付開示」にて公表いたしました通り、調達額が予定に満たない場合には、当該時点で未充当の資金使途には充当できなくなる可能性があります。調達額が予定より下回った場合には、上記⑥M&A資金、新規事業投資の使途で調整する予定です。また資金を使用する優先順位としましては、①運転資金から順に充当していく予定でしたが、上記「1.変更の理由」の「(1)運転資金」に記載しましたとおり、運転資金の支出が完了いたしましたので、②システム開発費用/開発体制の強化から順に充当していく予定に変更いたしました。

### 3. 現時点での資金調達と充当状況

現時点での本新株予約権の発行及び行使による資金調達額は796百万円、今後の調達予定額は517百万円であります。また現時点での資金充当状況及び今後の調達予定額は以下のとおりです。

#### 【現時点での充当状況】

<本新株予約権>

具体的な使途	充当した金額	今後の調達予定額
① 運転資金	164百万円	0百万円
② システム開発費用/開発体制の強化	10百万円	109百万円
③ マーケティング投資	26百万円	73百万円
④ 人材採用、教育投資	14百万円	0百万円
⑤ 借入金返済費用	153百万円	47百万円
⑥ M&A資金、新規事業投資	428百万円	287百万円
合計	796百万円	517百万円

### 4. 今後の見通し

本件支出予定時期の変更による当社の業績への影響は軽微であると見込んでおります。今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以上